

高校生に建設現場紹介

十勝建設産業の未来を考える会

【帯広発】十勝建設産業

の未来を考える会は26日、高校生の建設現場見学会を開催した。帯広工業高校と帯広農業高校の生徒約70人が参加。施工現場において、発注者、コンサルタント、施工者の3者がそれぞれの役割を説明したり現場見学を行ったりすることで建設業の役割と必要性を伝



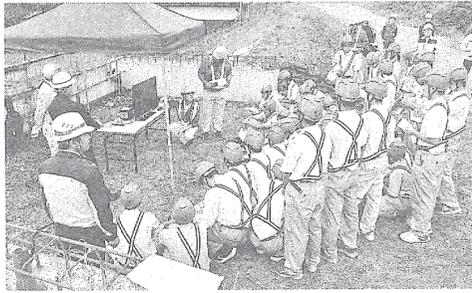
境土木科1年生と帯広農業高の農業土木工学科1年生を対象に現場見学会を実施。開建発注の「芽室川西地区西美栄幹線用水路美栄西六線工区外一連工事」（帯広線）と建管発注の「上札内帯広線」上札内橋架換工事（第一号線）（緑越、明許、外一、秋原建設工業）（帯広線）の現場を見学した。建管発注の現場では、建

管の担当者、施工監理を担当する梅崎氏、現場代理人を務める秋原建設工業の梅崎寿一氏が同現場におけるそれぞれの役割や事業概要等について説明した。半澤技術管理室長は、コンサルタントの魅力は「何もないところに新しくものを造るための設計図を作成すること」と説明。技術革新が進むコンサル業には「幅広い知識が求められる」と話した。梅崎氏がBIM／CIMモデルの導入による業務の効率化・高度化が図られた建設現場の現状を紹介した。梅崎氏は「高校を卒業して以来、多くの工現場に携わってきたが同じ現場は一つもない。常に新しいことへ挑戦でき、成果も分かりやすい」と建設業の魅力を伝えた。

土木科生徒に魅力周知

十勝建設産業の現場見学会 未来を考える会

【帯広】十勝建設産業の未来を考える会は26日、帯広工業高校と帯広農業高校の生徒約70人を対象に、現場見学会を開催した。中札内村内と帯広市内の現場に生徒を招き、業界の仕事とやりがい



3Dモデル動画で工事概要を説明した

を伝えた。同会は帯広開建、帯広建設、帯広建設業協会（帯広二建会）、十勝測量設計協会のほか、帯広工高と帯広農高の就職担当者で構成する。中札内村内で帯広建管発注の現場では、建

注の上札内帯広線、上札内橋架け換第一号橋線り越し明許ほか（秋原建設工業、帯広市内で帯広開建発注の芽室川西地区西美栄幹線用水路美栄西六線工区ほか（平田建設）

を訪問。両校が入れ替わる形で現場見学した。上札内橋架け換えでは、発注者や設計者、施工者がそれぞれの立場から役割や魅力を説明。その後、3Dモデルで作った完成

予想図を生徒に見てもらい、BIM／CIMの取り組みを解説した。質疑応答で生徒が賃金や完成までの工程を学び、建設業への理解を深めた。